

はじめに

右田由美子と申します。最近、ずっと、胸に秘めていたことがありました。それは「もう、そろそろ自分の本当にしたいことをやりたいな！」ということです。ナースの仕事もいいけれど、自分は外に出ていろいろなことをやりたい。執筆と言うと偉そうだけど、自分にできる範囲内のことをしてみたい。いろいろなポケットが自分にあると思っています。

自分が好きなことをして、それで食べていくことができれば言うことはありません。身体は正直で、やりたいことには夢中になります。ずっと日記はつけてきたように思います。SNSでも、自分は毎日更新していました。誰かに言われたわけじゃなく、好きでやつています。

やらないと調子が悪いぐらいです。自分は人と話すのが好きな人間です。そういう特性を生かして、できることはないか？思えば、最初にSNSを始めたのが、アメーバブログでした。上京した当时、歌手を目指していた時期がありました。そのときに、同じ歌手を目指していた仲間から教えてもらつたのが、アメーバブログです。それからFacebookに移行しました。しかし、日記感覚が好きな自分は、

また、アメーバブログに戻ってきました。

そのころ、人間関係や仕事など、いろいろ悩んでいた時期でした。職場の年配の女性にすすめられていた宗教の世界は「あ～、ここは、本物だな」と自分なりに感じました。

そして、信仰するようになると、今までの不運が嘘のように、いいことの繰り返しみたいに、いや「今までの不運はこういうことだつたんだよ！」と教えてくれるかのように事が流れていくのを感じました。

でも、自分は、世界の人口を考えてわかるように、正しい宗教はこの宗教一つだけでないと考えていました。だから、洗脳されたくない。自分の信仰はこれでいいけれど、他の宗教の正しいことにも理解を示したいと思っています。

そんなとき、今回の主催者の川西さんより「出版してみませんか？」とお誘いを受けました。自分にとつては願つてもいきない幸運で、自分を理解してもらいい機会を得たと思っています。

それには、今までの自分の生きてきた経緯から書かないと今が見えないだろうと思い、自分の人生を

振り返ってみました。かなりシビアな部分を踏んできた人生だったなど自分は思っています。

でも、正直に書くことが、これから生きるヒントにつながっていくものと信じています。思えば、小さなころ、自分は、毎日外で暗くなるまで遊んでいました。それは、物心ついたときからです。

あれは、確か、5歳ぐらいのときだったと思います。いつものように外で遊んでいました。陽が長かつたので、夏～秋にかけてぐらいかなとは思いますが、それは、天気のいい日でした。

夕方、空を見上げていたら、急に空の一角がオレンジ色にパッと明るくなり「あれ、なんだろう?」と不思議に思い一人で空を眺めていました。物体は見ていないと思うのですが、それがしばらく続き、元に戻りました。大人になってUFOの話が出ると、見た人がオレンジ色に輝いているとか言うんですね。それじゃ、自分の見たあの今でも強烈に覚えているオレンジ色の輝き、あれは、UFOだったのだろうか? 今でも不思議な思い出です。

日常では言わないこんなことも書けるので、今回お引き受けすることにしました。どうぞ、最後まで自分の人生をみなさんと比べてみてください。かなり強烈な個性かもしれないです(笑)。

そして、逆に誤解も解けることになればと、密かに期待しています。今回、川西さんと出版社の方々

には、お声をかけていただき、本当に感謝しています。読んだ感想などもお聞かせいただければと思い
ます。

2025年3月